



平成19年度関東地方整備局管内 災害対策等事業推進費(第2回配分)等の概要

記者発表資料

関東地方整備局管内では、災害対策等緊急事業推進費(第2回配分)等の推進費※約29億円により、台風9号による災害を受けた地域において緊急に実施すべき事業など(16件)を推進します。

※「推進費」は、年度途中において事業推進のため必要となった予算について、機動的に予算配分を行う制度です。

1. 災害対策等緊急事業推進費 事業数 14件/事業費約27.2億円

住民の安全・安心の確保に資することを目的とし、洪水・高潮・地震等の自然現象による災害を受けた地域、及び公共交通に係る重大な事故が発生した箇所等において、緊急に実施すべき事業を迅速に立ち上げ、又は推進するための予算です。

2. 地域自立・活性化事業推進費 事業数 2件/事業費約 1.6億円

平成19年度に創設された「地域自立・活性化交付金」と連携して、都道府県が作成する「広域的地域活性化基盤整備計画」に基づく事業に関連する事業等を推進するための予算です。

○事業箇所は別添「事業箇所一覧表」をご覧ください。

○参考：第1回配分HPアドレス

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/kisha/h19/0677.pdf>

関東地方整備局HPアドレス <http://www.ktr.mlit.go.jp/>

平成19年11月30日



国土交通省 関東地方整備局

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ、茨城県政記者クラブ、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場

問い合わせ先

TEL:048-601-3151 夜間直通TEL:048-600-1329

企画部 事業調整官 田村(内線3116)、企画部 企画課 建設専門官 竹内(内3153)

河川関係[直轄]河川計画課長補佐 牛腸(内3612) 河川関係[補助]地域河川課補佐 辰野(内3812)

道路関係[直轄]道路計画第一課長補佐 酒井(内4212) 道路関係[補助]地域道路課長補佐 窪田(内4612)

事業箇所一覧表

□災害対策等緊急事業推進費（災害対策の部）〔第2回配分〕

(単位：千円)

| 区分 | 事業名 | 事業主体 | 施行地 | 事業費 | |
|-----------------------|----------|-----------------------------|-------|----------------------|---------|
| 河川 | 直轄河川改修事業 | 利根川水系常陸利根川大山Ⅰ地区 | 国土交通省 | 茨城県稲敷郡美浦村 | 255,000 |
| | 直轄河川改修事業 | 利根川水系鬼怒川大久保地区他【事例①】 | 国土交通省 | 栃木県塩谷郡塩谷町大久保地先他 | 669,000 |
| | 直轄河川改修事業 | 利根川水系鏑川阿久津地区 | 国土交通省 | 群馬県高崎市阿久津地先 | 201,000 |
| | 直轄河川改修事業 | 荒川水系越辺川赤尾地区 | 国土交通省 | 埼玉県坂戸市赤尾地先 | 51,000 |
| | 直轄河川改修事業 | 多摩川水系多摩川二子玉川地区 | 国土交通省 | 東京都世田谷区二子玉川地先 | 400,000 |
| | 河川改修事業 | 利根川水系鏑川【事例②】 | 群馬県 | 群馬県多野郡吉井町大字吉井地先 | 200,000 |
| 河川計 | | | 6件 | 1,776,000 | |
| 道路 | 交通円滑化事業 | 一般国道1号 西湘バイパス | 国土交通省 | 神奈川県中郡大磯町国府新宿～二宮町二宮 | 90,000 |
| | 地域連携推進事業 | 一般国道462号 神流地区道路災害防除 | 群馬県 | 群馬県藤岡市坂原、多野郡神流町生利・黒田 | 85,000 |
| | 地域連携推進事業 | 一般国道462号 坂原地区道路災害防除【事例③】 | 群馬県 | 群馬県藤岡市坂原 | 450,000 |
| | 地域連携推進事業 | 一般国道140号 三富川浦地区道路災害防除 | 山梨県 | 山梨県山梨市三富川浦 | 80,000 |
| | 地域連携推進事業 | 主要地方道渋川松井田線 水沼地区道路災害防除 | 群馬県 | 群馬県高崎市倉渕町水沼 | 60,000 |
| | 地域連携推進事業 | 主要地方道下仁田上野線 檜原地区道路災害防除 | 群馬県 | 群馬県多野郡上野村大字檜原 | 60,000 |
| | 地域連携推進事業 | 一般県道黒滝山小沢線 大塩沢地区道路災害防除【事例④】 | 群馬県 | 群馬県甘楽郡南牧村大塩沢 | 60,000 |
| | 地域連携推進事業 | 一般県道平沢千野線 塩山竹森地区道路災害防除 | 山梨県 | 山梨県甲州市塩山竹森 | 60,000 |
| 道路計 | | | 8件 | 945,000 | |
| 災害対策等緊急事業推進費（災害対策の部）計 | | | 14件 | 2,721,000 | |

□地域自立・活性化事業推進費（二次）

(単位：千円)

| 区分 | 事業名 | 事業主体 | 施行地 | 事業費 | |
|----------------|----------|---------------------|-------|----------------|--------|
| 道路 | 地域連携推進事業 | 一般国道52号 上石田改良 | 国土交通省 | 山梨県甲府市上石田一丁目地先 | 70,000 |
| | 交通円滑化事業 | 一般国道20号 坂室バイパス【事例⑤】 | 国土交通省 | 長野県茅野市宮川 | 90,000 |
| 道路計 | | | 2件 | 160,000 | |
| 地域自立・活性化事業推進費計 | | | 2件 | 160,000 | |

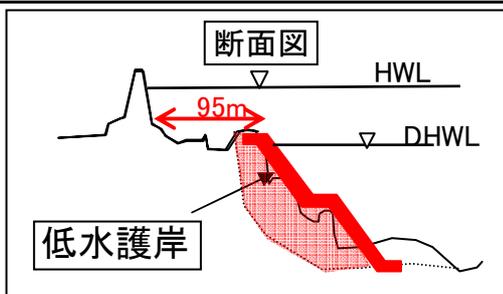
(単位：千円)

| | | | | |
|------------|--|--|-----|-----------|
| 関東地方整備局管内計 | | | 16件 | 2,881,000 |
|------------|--|--|-----|-----------|

【事例①】災害対策等緊急事業推進費(災害対策の部)

【直轄事業】

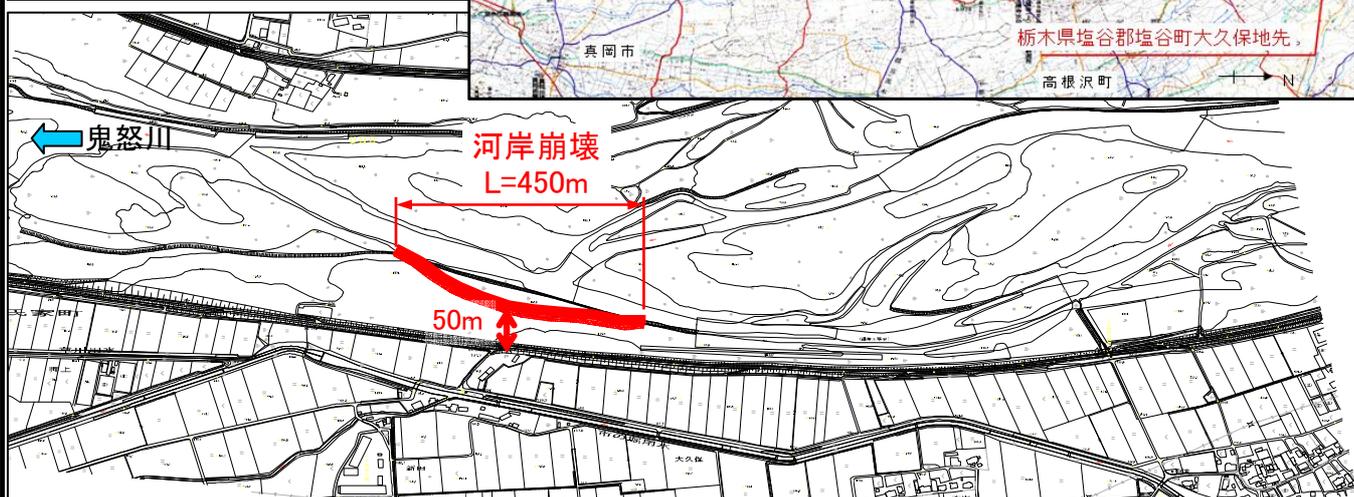
| | | | |
|-----|---|-----|--------|
| 事業名 | 直轄河川改修事業 利根川水系鬼怒川大久保地区 他 | 事業費 | 669百万円 |
| 施行地 | 栃木県塩谷郡塩谷町大久保地先 他 | | |
| 内容 | 平成19年9月の台風9号に伴う豪雨により、河岸が洗掘される被害が発生しました。洗掘は、堤防付近にまで迫り、必要な高水敷幅(堤防防護ライン)が減少し、洪水流が堤防付近まで迫り、当該箇所を放置すれば破堤につながる危険性もあることから、護岸等による河岸保護が急務となりました。 このような状況に鑑み、今年度推進費を充当し当該箇所の対策を実施することにより、堤防の安全性の確保を図ります。 | | |



| 凡 例 | |
|-----|-------------|
| 赤 | 推進費充当箇所 |
| 青 | 当年度施行(当初) |
| 緑 | 当年度施行(災害復旧) |
| 黒 | 施行完了 |
| 黄 | 施行予定 |



大久保地先河岸崩壊状況平面図



被災前写真



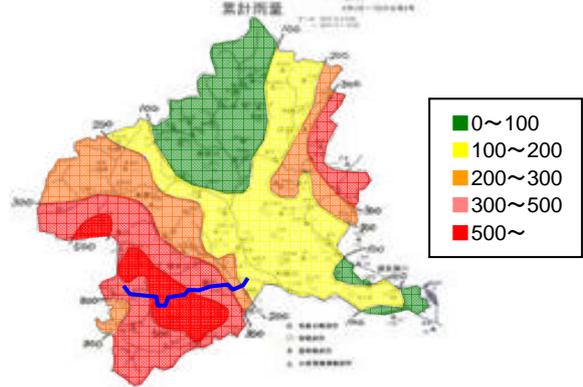
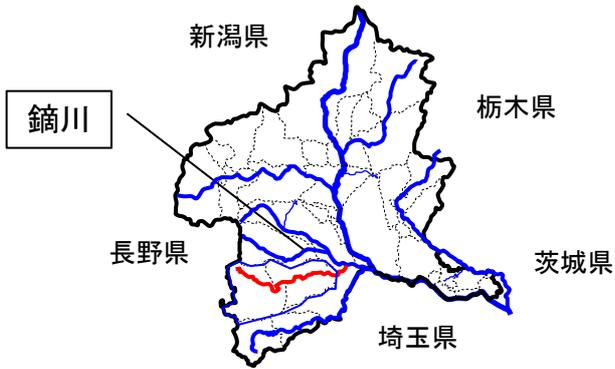
被災後写真



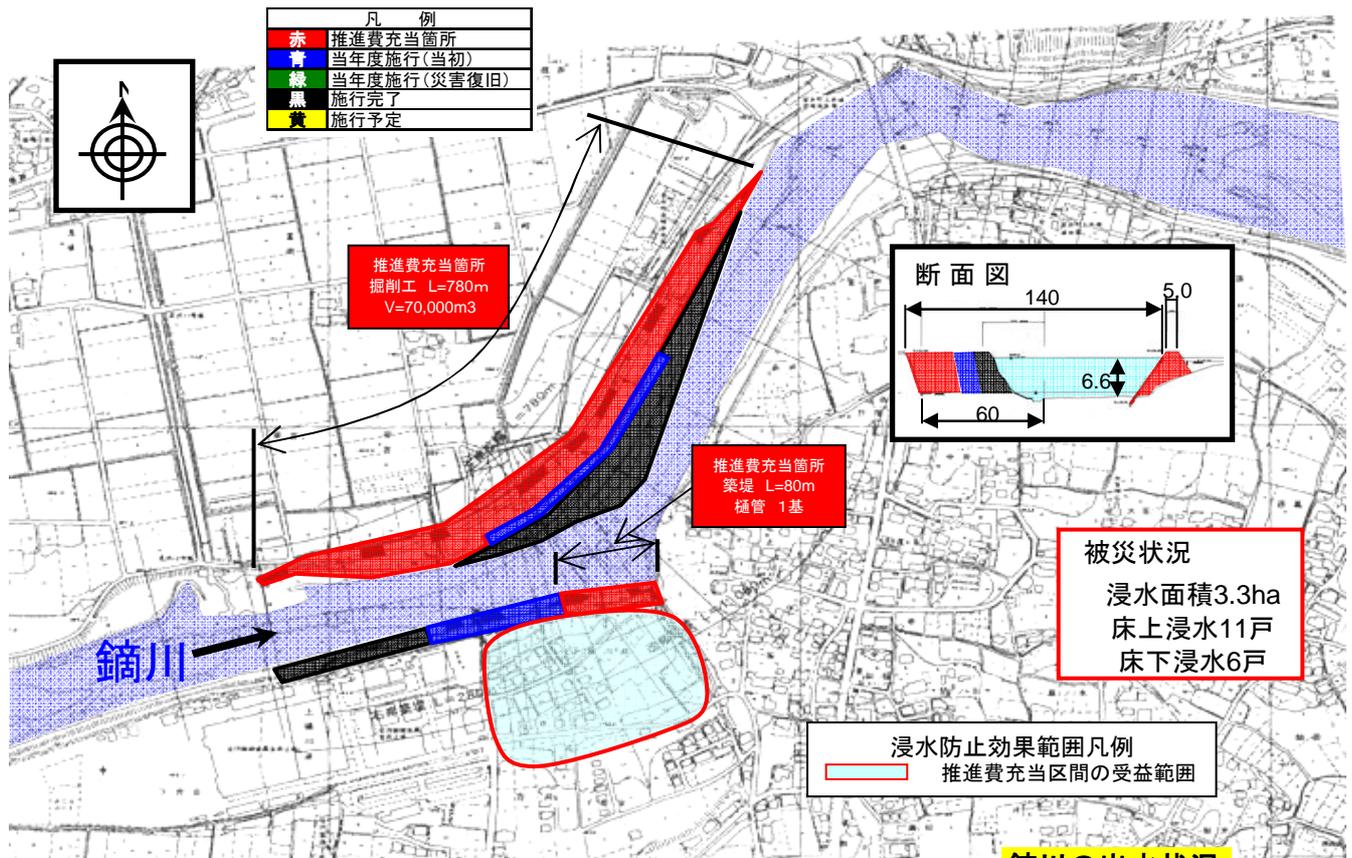
【事例②】災害対策等緊急事業推進費(災害対策の部)

【補助事業】

| | | | |
|-----|--|-----|--------|
| 事業名 | 河川改修事業 利根川水系鍬川 | 事業費 | 200百万円 |
| 施行地 | 群馬県多野郡吉井町大字吉井地先 | | |
| 内容 | 一級河川利根川水系鍬川は、下仁田町から富岡市、吉井町、高崎市を流れる主要河川であり、堤防がなく河道断面も狭小な河川である。 平成19年9月の台風9号にともなう豪雨(24時間雨量181mm、時間雨量36mm)では、鍬川右岸の吉井地区において、浸水面積3.3ha、床上浸水11戸、床下浸水6戸の浸水被害が発生し、浸水対策が急務となったことから本推進費を充当し、平成19年度の完成に向け対策工事を実施するものである。 | | |



降雨量図(平成19年9月4日8時~7日時の合計)



吉井町内の浸水状況



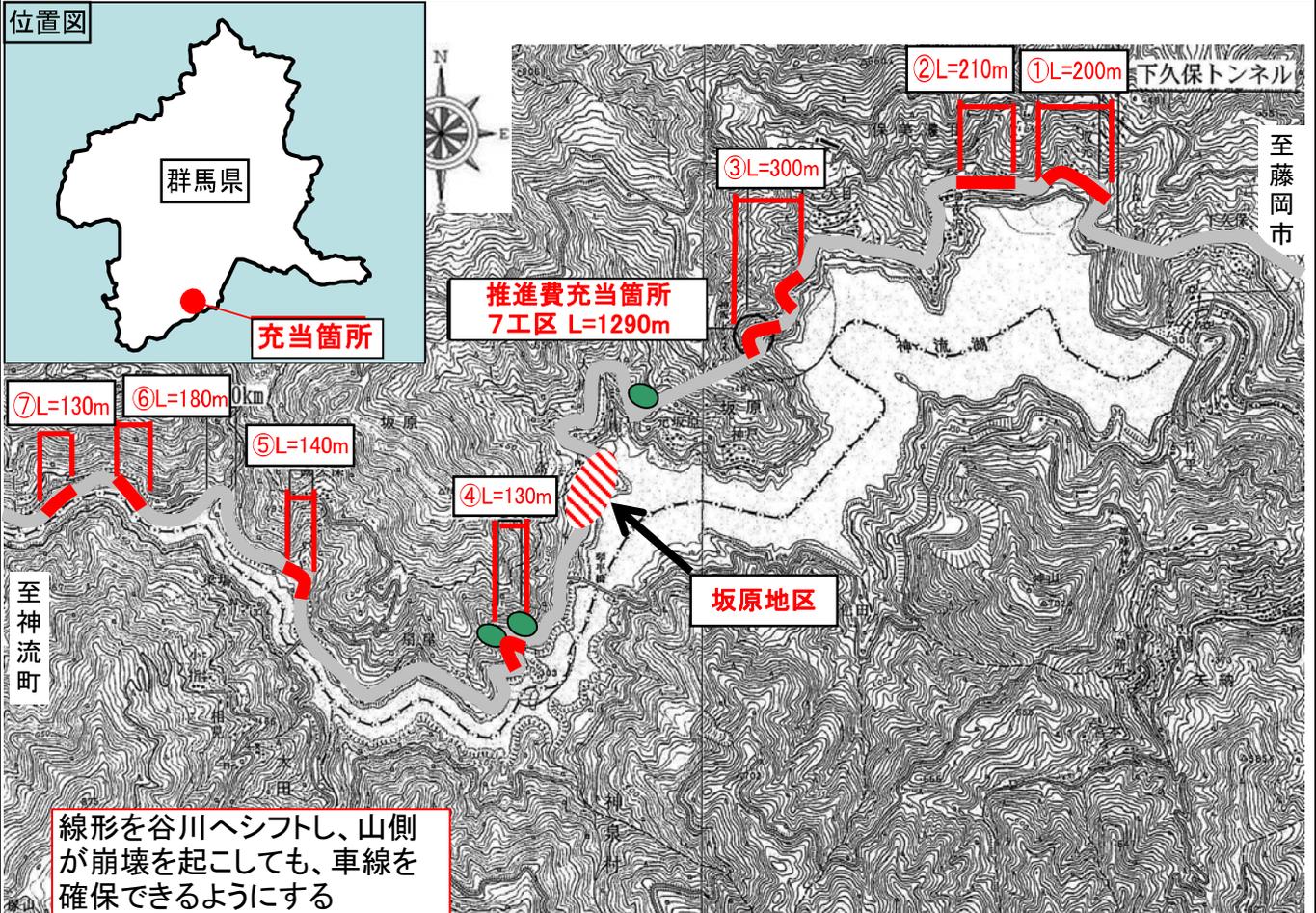
鍬川の出水状況



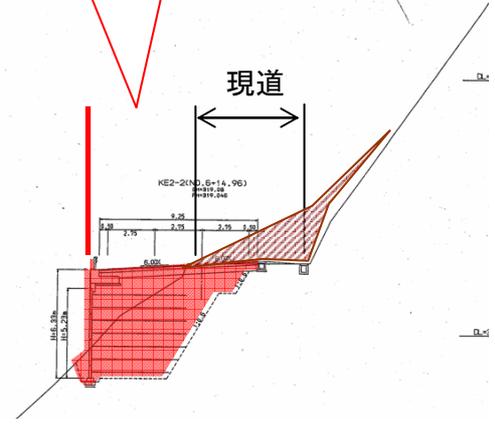
【事例③】災害対策等緊急事業推進費(災害対策の部)

【補助事業】

| | | | |
|-----|---|-----|--------|
| 事業名 | 地域連携推進事業 一般国道462号 坂原地区道路災害防除 | 事業費 | 450百万円 |
| 施行地 | 群馬県藤岡市坂原 | | |
| 内容 | <p>一般国道462号は、群馬県の第二次緊急輸送道路に位置づけられているが、大雨時の事前通行規制区間に指定されている等、防災上の課題を抱えている。平成19年9月の台風9号により坂原地区において法面崩壊により6日間の全面通行規制を余儀なくされ、一時的に坂原地区が孤立状態になった。緊急点検の結果、災害箇所以外においても小規模崩落、落石等を確認。放置すれば今後の降雨等により更なる法面崩壊等が起きる危険性があり、再度、坂原地区が孤立集落となる可能性があることから再度災害防止に向けた対策の実施が急務となった。</p> <p>このため、法面崩壊を防止し当該区域における道路としての機能確保を目的として、今年度推進費を充当し、平成19年度末の整備完了に向け対策工事を実施するものである。</p> | | |



線形を谷川ヘシフトし、山側が崩壊を起こしても、車線を確保できるようにする

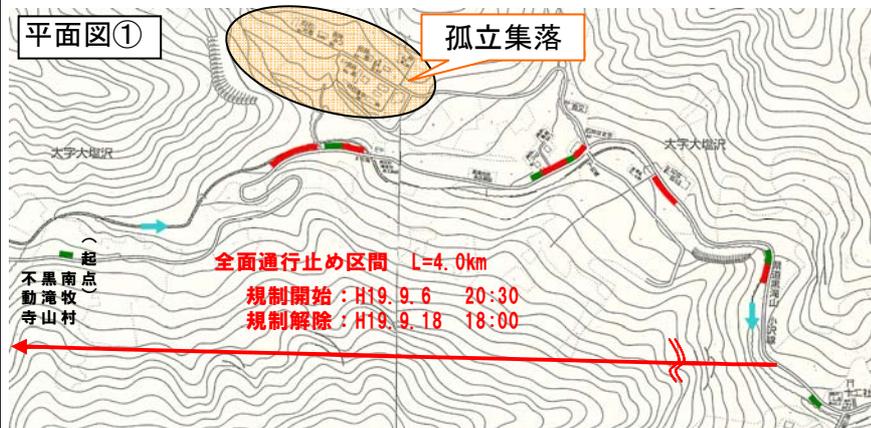
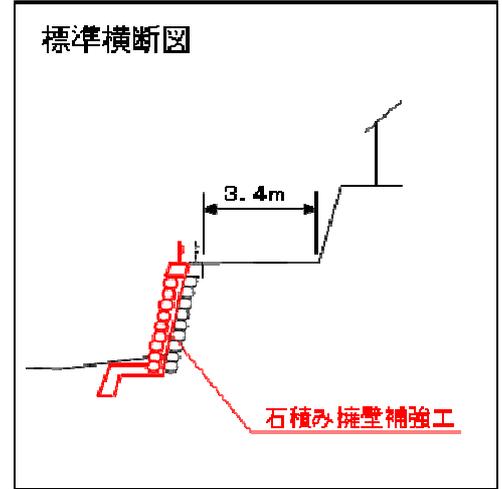


| 凡 例 | |
|-----|-------------|
| 赤 | 推進費充当箇所 |
| 青 | 当年度施行(当初) |
| 緑 | 当年度施行(災害復旧) |
| 黒 | 施行完了 |
| 黄 | 施行予定 |

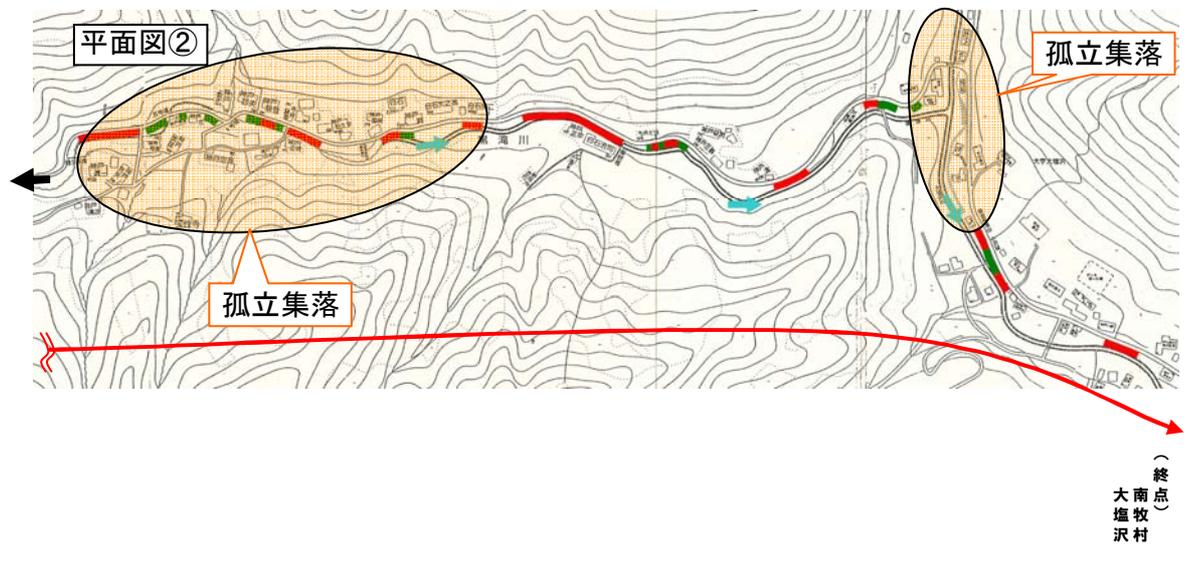
【事例④】災害対策等緊急事業推進費(災害対策の部)

【補助事業】

| | | | |
|-----|---|-----|-------|
| 事業名 | 地域連携推進事業 一般県道黒滝山小沢線 大塩沢地区道路災害防除 | 事業費 | 60百万円 |
| 施行地 | 群馬県甘楽郡南牧村大塩沢 | | |
| 内容 | 一般県道黒滝山小沢線は、群馬県甘楽郡南牧村黒滝を起点として甘楽郡南牧村小沢に至る延長約5.4kmの道路で、道路沿線住民にとっては同地域唯一の道路であり、生命線となる重要な道路である。また、急峻な山川沿いの道路であることから、大雨による出水時に護岸兼用石積み擁壁が破壊され道路決壊すると、道路沿線住民が孤立するという防災上の課題を抱えている。このような状況の中、平成19年9月の台風9号に伴う豪雨では、小塩沢地区において道路と平行して流れる小塩沢川の護岸兼用石積み擁壁が決壊する災害が発生し、全面通行不能となった。小塩沢地区へ通ずる道路は本路線のみであり、大塩沢地区117世帯288人が孤立状態となった。このことから再度災害防止に向けた恒久対策が急務となったため、推進費を充当し、平成19年度完成に向け補強工事を実施するものである。 | | |



| 凡 例 | |
|-----|-------------|
| 赤 | 推進費充当箇所 |
| 青 | 当年度施行(当初) |
| 緑 | 当年度施行(災害復旧) |
| 黒 | 施行完了 |
| 黄 | 施行予定 |



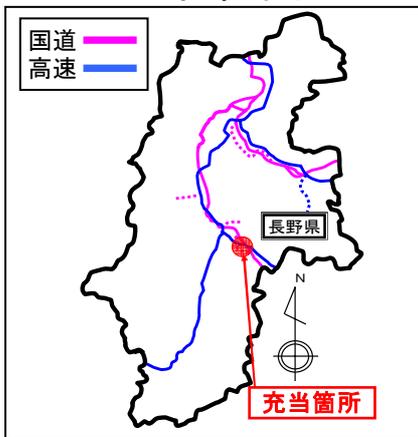
【事例⑤】地域自立・活性化事業推進費

【直轄事業】

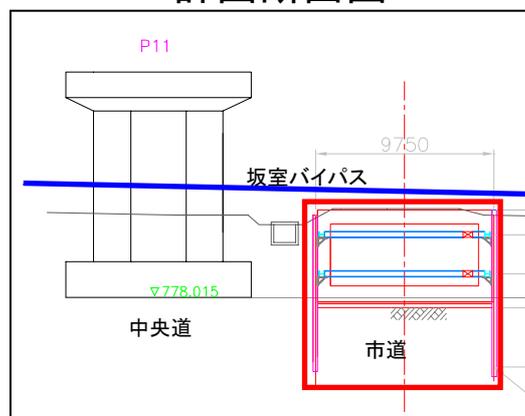
| | | | |
|-----|---|-----|-------|
| 事業名 | 交通円滑化事業 一般国道20号 坂室バイパス | 事業費 | 90百万円 |
| 施行地 | 長野県茅野市宮川 | | |
| 内容 | <p>一般国道20号坂室バイパスは、茅野市内の交通混雑緩和と交通安全確保を目的とした、茅野市木舟から同市宮川に至る延長約3.0kmのバイパス整備事業である。</p> <p>当該道路は、長野県が作成した広域的地域活性化基盤整備計画「ハヶ岳・軽井沢地域」において拠点施設とされた蓼科高原（白樺湖周辺観光施設）及び諏訪大社へのアクセス道路として、観光振興を通じた長野県の自立・活性化に大きく貢献することが期待される。</p> <p>当該区間については、坂室バイパスを交差する市道がアンダーパスする計画であり、地質調査をおこなったところ、想定していなかった硬岩が発見され、修正設計を行う必要が生じた。</p> <p>今般、設計が完了し施工方法が決定したことから、今年度、推進費を充当し横断函渠を施工するものである。</p> | | |

【概要図】

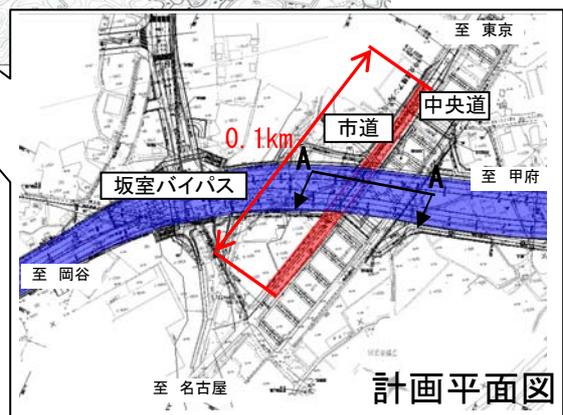
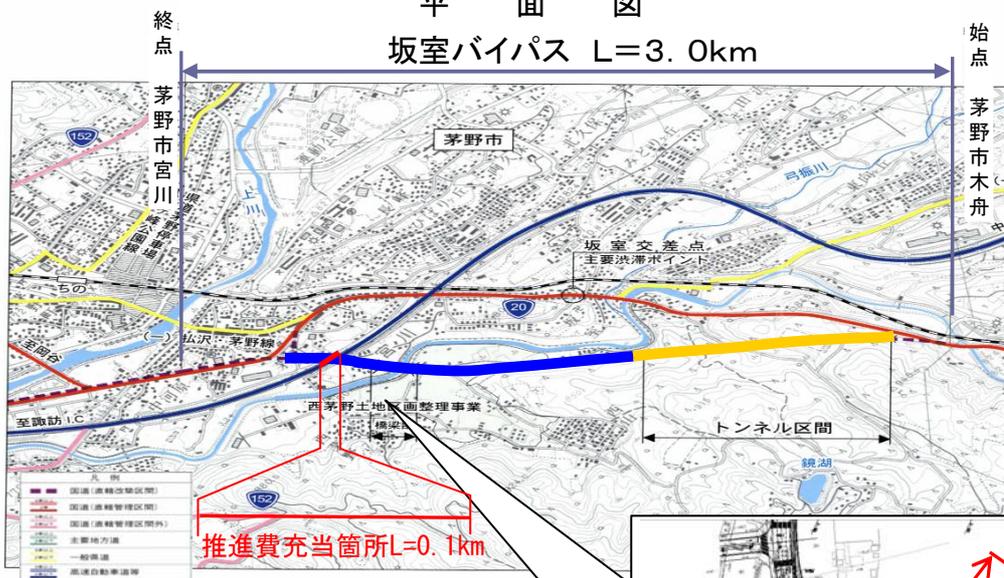
位置図



計画断面図



平面図
坂室バイパス L=3.0km



| 凡 例 | |
|-----|---------|
| 赤 | 推進費充当箇所 |
| 青 | 当年度施行 |
| 黒 | 施行完了 |
| 黄 | 施行予定 |

計画平面図